

パラグアイで自分のトリオによる初のコンサートを実現  
鳴り止まない拍手と歓声 沸き起った感動をお伝えします

# ルシア塩満

## アルパ・アコースティック・コンサート

演奏：ルシア塩満／高橋マサヒロ／菱本幸二／歌田みゆき／芝本ゆみ子

2013年 12月14日(土) 18:30開演  
(18:15開場)

東京文化会館小ホール

(JR・東京メトロ上野駅公園口前)

チケット料金：¥4,500(税込・全席指定)

チケット発売開始日：10月4日(金)

◆チケットお問合せ・ご予約

株東京音協 Tel 03-5774-3030

オフィス・アルペジオ Tel 03-3902-5355

◆プレイガイド

株東京音協

Tel 03-5774-3030 <http://t-onkyo.co.jp>

オフィス・アルペジオ

Tel 03-3902-5355 [arpeggio@minos.ocn.ne.jp](mailto:arpeggio@minos.ocn.ne.jp)

東京文化会館チケットセンター

Tel 03-5685-0650

チケットぴあ

Tel 0570-02-9999 (P コード:213-024)

ローソンチケット

Tel 0570-084-003 (L コード:36418)

イープラス

<http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

クラブ・パナンビ会員特典

ルシア塩満ファンクラブ会員(有料登録会員)が  
お求めになるチケットは、オフィス・アルペジオでの  
前売分に限り全て会員割引料金(1枚=¥4,000)  
になります。

ルシア塩満ホームページ

<http://www.arpalucia.com>



■主催：株東京音協／オフィス・アルペジオ

■企画制作：オフィス・アルペジオ

■後援：パラグアイ共和国大使館／日本アルパ協会

# ルシア塩満トリオ 初のパラグアイ・コンサート

ルシア塩満が高橋マサヒロと菱本幸二を連れてパラグアイで初となるコンサートを行った。8月21日：アスンシオンの『人造りセンター』、23日：エンカルナシオンの『イタプア県立ホール』、25日：サンタ・リタの『文化会館』の3会場へは大勢の観客が詰めかけ、各会場とも割れんばかりの拍手が鳴り止まなかった。ことにアルパとケーナ、サンポーニャのアンサンブルはパラグアイでは聴く機会がないため、多くの人に感動を与えることができた。



## ◎ルシア塩満

幼い頃にパラグアイで生活したことでアルパを知り、高校卒業後にアルパの第一人者クリスティーノ・バエス・モンヘス氏の指導を受けるためにパラグアイへ渡る。プロのアルパ奏者としてのデビューは1975年になる。

アルゼンチンで開催されるfolkloreの世界的な祭典『コスキン・フェスティバル』には5回出演。2007年にはパラグアイで行われた『第1回世界アルパ・フェスティバル』に招待されて演奏。パラグアイ「人造りセンター」の落成20周年（2008年）と落成25周年（2013年）の記念公演で演奏。2012年にはペネズエラでの日本文化週間でのコンサートも好評を博す。

国内ではコンサート活動、テレビ・ラジオ出演、CD制作（9枚リリース）を通じてパラグアイ音楽や文化を長年にわたり紹介。その活動が認められて、パラグアイから1995年に[文化功労賞]、2004年には日本人の音楽家として初めて[国家功労勲章・コメンダドール位]を授与される。



## ◎高橋マサヒロ

folklore・グループ「グルーポ・カンタティ」や「ルス・デ・ナスカ」の一員として演奏活動を続けた後、folkloreの本場ボリビアへ渡り研鑽を積む。1994年にはボリビアでCDを録音し現地マスコミの間で注目される。1995年にケーナとサンポーニャの新たな音楽性・可能性を求めてグループを結成し活動を始める一方、1996年、2005年、2008年にCDを自主制作。ケーナとサンポーニャのスペシャリストとして活躍。

## ◎菱本幸二

13歳でケーナ、その後サンポーニャに出会い独学で習得。1987年、国際協力基金の中南米7ヶ国公演に参加。ボリビアでチャランゴの名手エルネスト・カプールのグループで演奏する機会を得る。ボリビアでいくつかの実力派グループと共に活動後、1999年にケーナの第一人者ロランド・エンシーナス率いる「ムシカ・デ・マエストロ六重奏団」（現「アカパナ」）を結成。「アカパナ」での演奏・編曲のほかソリストとしても活動。CDも制作。

## ◎歌田みゆき・芝本ゆみ子

ルシア塩満アルパ教室からデビューしたふたりの新人。

歌田みゆきは10歳から教室へ通い始めて2008年には更なるアルパの習得のためメキシコへ留学。テレビ・ドラマやアニメーションのサウンドトラック、他アーティストのレコーディングへの参加など多方面で活躍。

芝本ゆみ子は電子オルガンの演奏活動を長い間続けていたときにアルパを知り習い始める。アレンジ・センス、アレンジ能力には豊かな才能が認められる。地元金沢を中心に活動。

